

令和元年度拡大編集委員会 議事録

日 時	令和元年 10 月 5 日 (土) 10:30~11:10
場 所	パシフィコ横浜 会議センター5F・511+512 号室
出席者	萱場広之、村上正巳、石井良和、磯部和正、柏森裕三、澤部祐司、南木 融、萩原三千男、日高 洋、松原朱實、行正信康、編集事務局 (田原完次)
欠席者	石井潤一、盛田俊介、横田浩充、阿部正樹、池田勝義、渭原 博、氏家真二、大久保滋夫、康 東天、静 怜子、べ谷直人、清宮正徳、白井秀明、千本松貴明、竹越一博、通山 薫、長井 篤、永井正樹、長田 誠、中山智祥、野村文夫、春木宏介、菱沼 昭、藤巻慎一、松尾収二、三島清司、三橋知明、宮下徹夫、和田隆志
議 題	(1) 平成 30 年度拡大編集員会議事録の確認 (2) 査読規定改訂の報告 (3) 投稿規定改定の報告 (4) 会誌発行経過、進捗状況報告 (3) 第 26 回論文賞選考経過報告 (4) 学会誌オンライン化の件 (5) ご意見、ご要望など (6) その他

議 事 録

1. 平成 30 年度拡大編集員会議事録を確認した。

2. 査読規定改訂の報告

萱場委員長が、8 月の紙上編集委員会で一部文言の修正 [評議員→評議員(社員)]を諮り、了承して頂いた経過について報告した。

3. 投稿規定改定の報告

事務局より、学会名改称に伴い、学会誌も「医療検査と自動化 (日本医療検査科学会会誌)」に変更されるので、それに対応する個所についてのみ投稿規定を修正した旨の報告があった。また、表紙の案が示されたが、石井良和委員から誌名の変更に伴い、ISSN の番号も変更されるはずなので確認するようにとの指摘を受け、事務局で対応することにした。

4. 会誌の発行状況について

事務局より、資料に基づいて発行は順調に進捗した。また、これから発行予定の 44 巻 5 号および 45 巻 1 号も総説を除いて原稿は全て揃っている (総説原稿も近々入手予定である) 旨の報告があった。

なお、45 巻 2 号の第 51 回大会シンポジウム講演要旨の特集にも、論文掲載を早くするために 2~3 編の一般論文も掲載することを確認した。

5 第 26 回論文賞の選考経過について

萱場広之委員長から編集委員の採点で得点の高かった論文について、各種統計処理して下記 2 編を論文賞に決定した旨の報告があった

- ① 「可溶性フィブリンモノマー・フィブリノゲン複合体(SF)測定試薬ナノピア SF とイアトロ SF II の比較」

中里 萌ほか（山口県立総合医療センター 中央検査部）

② 「全自動尿中有形成分分析装置 UF-5000 における体液測定モードの基礎的性能評価」

蒲生夏美ほか（東邦大学医療センター大森病院 臨床検査部）

6. 学会誌のオンライン化について

来年の 45 巻 1 号から学会誌がオンライン化されるが、学会 HP 上で、会員だけでなく、誰でも見られるようにする旨、報告があった。

なお、補冊、抄録集については従来通り印刷し、全会員に送付する。

7. ご意見・ご要望

特になし。

8. その他

- ・萱場広之委員長から、企業から論文を英訳して別刷を作成したいとの要望が届いてるが、費用をいくらにするか等の規定を作成したいとの発言があった。
- ・萱場広之委員長から、事務局からの要望もあり、編集委員を少し増やしたい旨の発言があった。
- ・萱場広之委員長から、ご自信の理事長就任に伴い、編集長を高橋聡理事（札幌医科大学）にお願いする予定であるとの報告があった。